

文学散歩

国際子ども図書館 建築探訪と韻松亭



[出典：国際子ども図書館ウェブサイト]

国際子ども図書館の前身である帝国図書館の建物は、明治39年に開館し、蔵書数42万冊を誇る東洋一の図書館建築といわれました。当日は図書館内をガイドツアーで巡ったのち、韻松亭にて昼食となります。(学科を問わず参加できます)

日 時 6月25日(水) 10時～
 集合場所 JR上野駅公園改札外
 定 員 25名
 代 金 3,000円(昼食代含)
 申込締切 5月13日(火)
 申込方法 下欄参照



韻松亭

国文学科会

文学講座(通年)

「推し」から広がる世界

(学科を問わず参加できます)

- 1 西山利佳先生 青山学院大学コミュニティ人間科学部准教授。著書に『＜共感＞の現場検証 児童文学の読みを読む』(くろしお出版)他。
6月14日(土) だから児童文学はおもしろい！
 児童文学は未来をあきらめない希望の文学。おとなにも読んでほしい作品を熱く(暑苦しく?)語ります。
- 2 栗山元子先生 早稲田大学・法政大学兼任講師。『源氏物語』他平安文学を研究。
7月12日(土) 『源氏物語』の自然描写表現の妙味を推す
 『源氏物語』の自然描写が物語の表現として機能していく、その巧みさについて「推し」ていきます。
- 3 松山立先生 日本大学芸術学部演劇学科准教授。演劇研究者。特にイギリスの俳優訓練について研究しています。
9月13日(土) 演劇の世界 ～この世はすべて「推し」～
 演劇は、観客が役者を「推す」ことで成立します。文学と演劇の関係から、その構造を読み解きましょう。
- 4 輪島達郎先生 青山学院大学コミュニティ人間科学部准教授。専門は琉球・沖縄の歴史と文化。
10月11日(土) 船越義彰と沖縄アイデンティティ
 戦後沖縄を代表する作家・詩人・評論家として活躍した船越義彰の諸作品を、「沖縄アイデンティティ」追求の軌跡として読み解きます。
- 5 関谷雄一先生 東京大学大学院総合文化研究科教授。専門は文化人類学、アフリカ社会開発、日本の震災復興研究等。
11月8日(土) 奴隷のルーツをたどる旅ーアフリカの歴史と開発
 大西洋奴隷貿易の拠点となった西アフリカ諸国で行われる、自らのルーツをたどる人々の旅について話します。
- 6 小林ふみ子先生 法政大学教授。東京大学大学院博士課程修了。専門は18～19世紀の江戸文芸。
12月13日(土) 大田南畝と江戸狂歌の大流行
 大河ドラマで話題の蔦屋重三郎は江戸狂歌のネットワークを背景に活躍しました。その面白さを紹介します。
- 7 鈴木直子先生 清泉女子大学教授。専門は日本近代文学・女性文学など。
1月10日(土) 令和に「推し」たい昭和の女性文学
 有吉佐和子や津島祐子など、主婦・ケア・他者・身体を切り口に、私のイチオシ昭和文学を読み解きます。
- 8 李青若先生 韓国家庭料理研究家、ライター。気軽な韓国家庭料理を伝える活動の傍ら、日韓史、在日コリアン史のエッセイを執筆。
3月14日(土) 趙重玉(チョウ・ジュンオク)と朝鮮宮廷料理
 「日本における韓国料理の母」趙重玉を起点にして、朝鮮宮廷料理と朝鮮貴族についてお話します。レシピも数点配布します。

報告 秋の文学散歩・秋の講演会

馬込文士村ウォーキング (10/24)

見事な秋晴の下、21名の方が参加されました。大正・昭和の文士たちの生き様を思い巡らしながら散策しました。



『源氏物語』にみる女性の生き方 (11/30)
 藤井先生と大河ドラマの人気で応募が殺到。場所を短大教室に変更するも満員となりました。先生の面白い考察に引き込まれ、あっという間の2時間でした。

文学散歩・文学講座(通年)
申込方法

①「文学散歩希望」または「文学講座希望」②住所③氏名④携帯番号⑤電話番号⑥和暦卒年⑦学科を明記の上、**往復はがきまたは以下のメールアドレスにお申込みください。**

【往復はがきの宛先】

〒150-8366 東京都渋谷区渋谷4-4-25

アイビーホール青学会館3F

青山学院女子短期大学同窓会

国文学科会「文学散歩係」または「文学講座係」各申込み1名につき1枚

【申込・問合せ】

agwjck.kokubun@gmail.com



時 間 13:30～15:30
 場 所 スクーンメーカー記念館
 (旧女子短期大学図書館)
 セミナールーム
 定 員 30名
 会 費 10,000円(8回分)
 申込方法 左欄参照

講師のメッセージ、単回募集や変更など、Webサイトでご案内します。